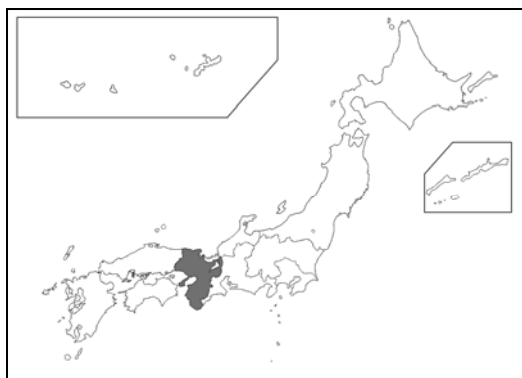


## (7) 近畿



近畿地域では、景気は持ち直し基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。

- ・ 鉱工業生産は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる。
- ・ 個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱めの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す( \_ は上方に変更、 \_ は下方に変更)

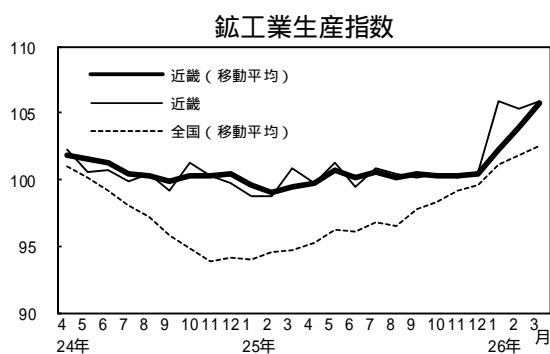
### 前回調査からの主要変更点

|       | 前回(平成26年2月) | 今回(平成26年5月)   |  |
|-------|-------------|---|--|
| 景況判断  | 持ち直し        | 持ち直し基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる |  |
| 鉱工業生産 | 緩やかに持ち直し    | 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる              |  |
| 個人消費  | 持ち直し        | 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱めの動きがみられる              |  |
| 住宅建設  | 大幅に増加       | おおむね横ばい   |  |

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる。

1～3月期には、はん用・生産用・業務用機械は、蒸気タービン部品等が減少したこと等から減少した。化学は、合成アセトンが生産調整から回復したこと等から増加した。電気機械は、新製品のためにセパレート型エアコンの生産が増加したこと等から増加した。輸送機械は、国内向けの需要が好調なことから、駆動伝導・操縦装置部品で増加したこと等から増加した。食料品・たばこは、飲料等で増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

|               | 付加価値<br>ウェイト | 生産          |           |      |     |     |
|---------------|--------------|-------------|-----------|------|-----|-----|
|               |              | 10～12<br>月期 | 1～3<br>月期 | 1月   | 2月  | 3月  |
| はん用・生産用・業務用機械 | 17.4         | 1.8         | 1.1       | 4.8  | 4.5 | 7.6 |
| 化学            | 16.8         | 5.0         | 17.0      | 17.0 | 3.0 | 2.0 |
| 電気機械          | 9.0          | 3.1         | 12.9      | 11.7 | 1.7 | 1.0 |
| 輸送機械          | 8.4          | 7.8         | 2.3       | 4.5  | 4.6 | 5.8 |
| 食料品・たばこ       | 6.7          | 1.1         | 9.5       | 4.4  | 9.5 | 2.2 |
| 鉱工業           | 100.0        | 0.0         | 5.3       | 5.3  | 0.6 | 0.6 |

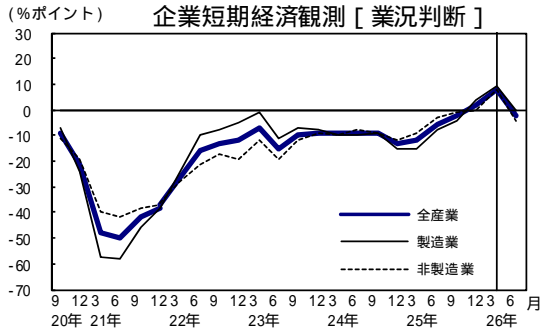
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。

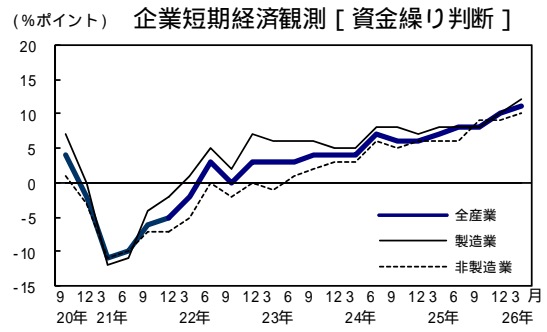
2. 全国及び近畿の大線は後方3か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

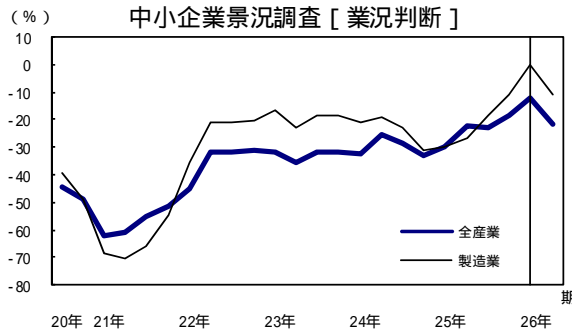
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。26年6月は予測。  
21年12月は新・旧基準を併記。



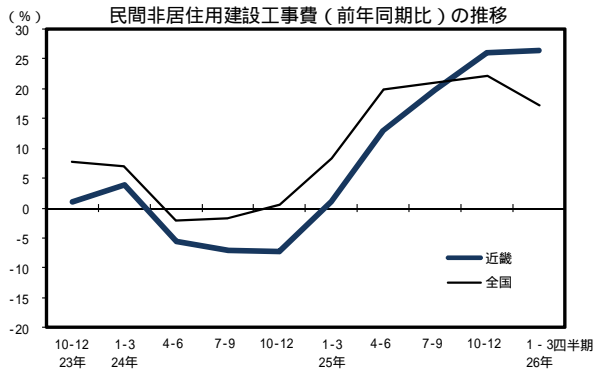
(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。26年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月)[企業動向関連(現状)]  
「消費税率引上げに伴い、消費者の買い控えが出たのか、前月比で売上が減少している(食品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(3月調査)]

|      | (前年度比、%)    |        |
|------|-------------|--------|
|      | 25年度実績見込み   | 26年度見通 |
| 全産業  | 5.5 ( 1.3 ) | 2.4    |
| 製造業  | 3.5 ( 2.0 ) | 2.4    |
| 非製造業 | 6.8 ( 0.8 ) | 2.4    |

(備考)( )は前回(12月)調査比修正率。

(7) 近畿

2. 需要の動向

(1) 個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱めの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.1%増、2月は同1.6%増、3月は同9.2%増となった。

大型小売店販売額

百貨店は、1月は、高額品に増税前の駆け込み需要がみられたこと等から前年を上回った。

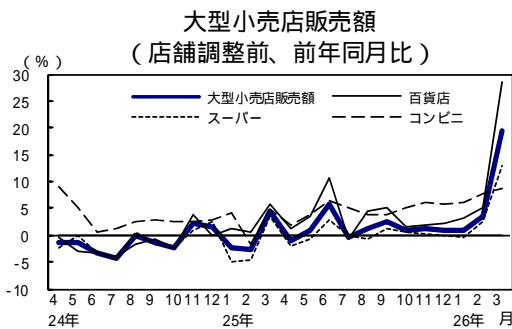
2月は、バレンタインなどの動きもよかったことのほか、消費税増税前の駆け込み需要が見られたこと等から前年を上回った。3月は、気温上昇に伴い春物衣料品が良く動いたほか、増税前の駆け込み需要等で大幅に売上げを伸ばしたこと等から前年を上回った

スーパーは、増税前特需では白物家電、衣料品、日用品、及び加工食品等でまとめ買いがみられたこと等から前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (4月) [家計動向関連 (現状)]

近畿地域の家計動向関連DIは、40.4となり前月より19.7ポイント低下した。

「3月の消費税増税前の駆け込み需要の反動が大きく、来客数は多いにもかかわらず、購入客数が前年を大きく下回っている (百貨店)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。

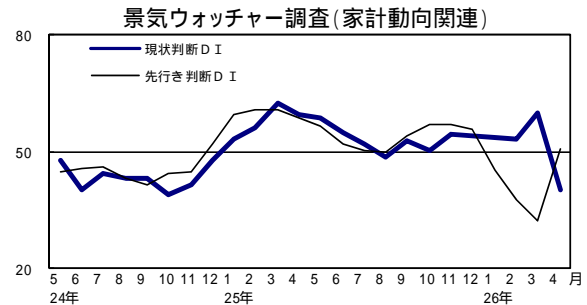
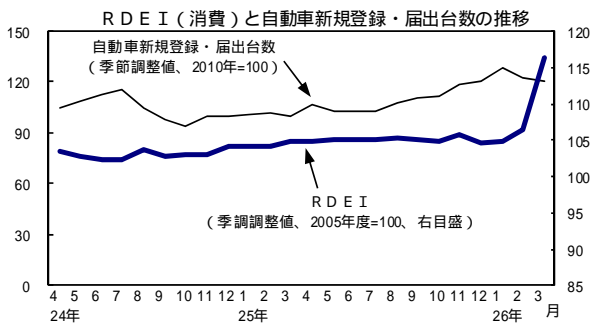


|             | 26年1-3月 | 26年1月 | 2月   | 3月   |
|-------------|---------|-------|------|------|
| RDEI (消費*1) | 3.9     | 0.1   | 1.6  | 9.2  |
| 大型小売店(*2)   | 8.0     | 1.0   | 3.4  | 19.3 |
| 百貨店(*2)     | 12.6    | 3.2   | 5.0  | 28.5 |
| スーパー(*2)    | 5.0     | 0.4   | 2.4  | 12.9 |
| コンビニ(*2)    | 7.6     | 6.2   | 7.6  | 8.8  |
| 乗用車(*3)     | 22.8    | 27.9  | 20.9 | 21.0 |
| (季節調整値)(*3) | 5.6     | 6.0   | 4.4  | 1.6  |

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

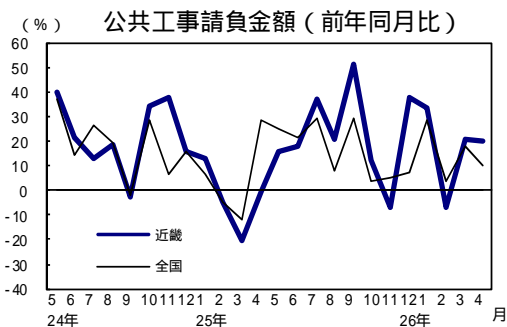
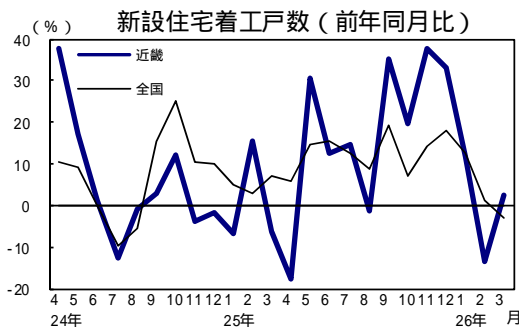
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲が下回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。

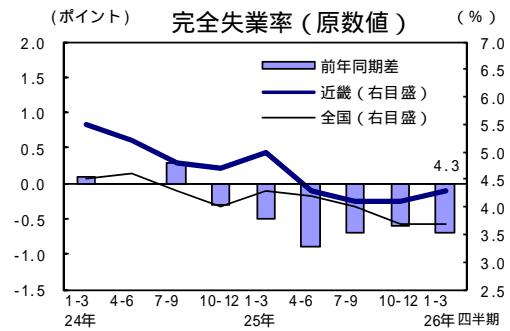
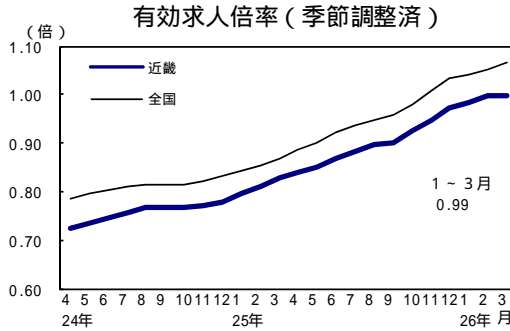


### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は、着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (4月)[雇用関連(現状)]

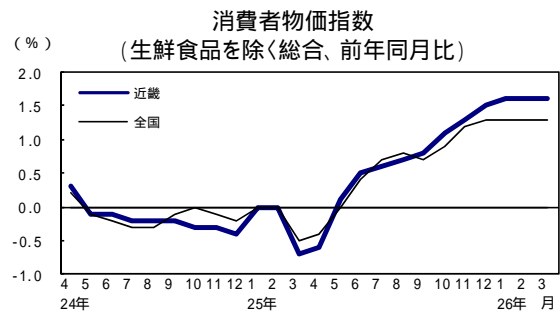
「毎年4月は落ち込みが激しいが、今年に限っては大きな落ち込みはない(人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の上昇幅が拡大している。

#### 企業倒産

|       | (件、億円、%) |       |        |         |       |
|-------|----------|-------|--------|---------|-------|
|       | 25年4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 26年1-3月 | 26年4月 |
| 倒産件数  | 715      | 649   | 651    | 612     | 235   |
| (前年比) | 10.5     | 10.9  | 14.3   | 9.9     | 0.0   |
| 負債総額  | 1,045    | 1,321 | 905    | 652     | 184   |
| (前年比) | 33.2     | 71.7  | 21.1   | 7.7     | 44.5  |



景気ウォッチャー調査 (4月)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

・消費税率の引上げによって購入意欲が低下し、販売台数が減っている(乗用車販売店)

<先行き>

・賃金のベースアップや株価の下支えなど、前回の消費税増税時よりも条件が良い。今月もその影響からか、増税の影響は少なく済んでいる。夏には店側の仕掛けにもよるが、消費は回復しそうな気配がある(百貨店)

